

第69回教育研究評議会議事録（要録）

平成22. 4. 20（火）13:30～14:14

場所：本部棟5F1会議室

出席者	浅原, 上, 岡本, 坂越, 佐藤(正), 西村, 宜名眞, 吉栖, 高田, 大塚, 樫原, 山内, 岡橋, 棚橋, 宮谷, 富岡, 出口, 江幡, 川真田, 江坂, 古澤, 池田, 木下, 杉本, 神谷, 鎌田, 谷口, 太田, 山本, 相原, 檜山, 佐藤(利), 澤, 吉川, 黒田 以上評議員 35人
欠席者	山根, 河本, 宇田川, 高萩, 小林, 吉田, 越智
オブザーバー	西口, 間田, 坂下, 相田, 高谷, 香川, 松浦, 西谷, 土屋, 藤岡, 西田, 星野, 児島, 森, 山口, 西嶋, 高橋, 坂田, 竹内

(議事)

1. 「教育研究評議会における学長選考会議委員の選出についての申合せ」  
の一部改正について----- 別紙1  
(学長提案・説明)

工学研究院の設置に伴う「教育研究評議会における学長選考会議委員の選出についての申合せ」の一部改正について提案・説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2. 学長選考会議委員の欠員に係る選出について ----- 別紙2  
(学長提案・説明)

学長選考会議委員のうち、平成22年4月1日付け評議員の交替により、2名が欠員になったことに伴う委員の選出について提案・説明があり、投票の結果、樫原修大学院総合科学研究科長及び神谷研二原爆放射線医科学研究所長を学長選考会議委員に選出した。  
なお、投票立会人は、議長指名により山口副理事（総務企画担当）が務めた。

(報告)

1. 個別学力検出題ミス再発防止について----- 資料1  
(上理事・副学長（教育担当）報告)

前期日程で生じた出題ミスについて、再発防止策を講じる検討WGにおける再発防止策について報告があった。

2. 「広島大学における研究費等の不正使用防止計画（第二次行動計画）」の策定について  
----- 資料2  
(児島副理事（財務企画担当）報告)

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）について」を踏まえ、第一次行動計画の実施において対応が不十分であった事項及び平成21年11月に実施した「研究費等の使用に関するアンケート」の結果等を基に、広島大学研究費等不正使用防止計画推進室において第一次行動計画の見直しを図り、「広島大学における研究費等の不正使用防止計画（第二次行動計画）」を策定した旨、報告があった。

また、ホームページ及び全学情報共有基盤システム「いろは」にも掲載したので、構成員に周知いただきたい旨、併せて報告があった。

3. 女性教員採用割合について----- 資料3  
(山口副理事（総務企画担当）報告)

第48回教育研究評議会(20.5.20)において設定した各部局等における女性教員採用割合の目標値について、平成22年1月から3月まで及び平成21年度の女性教員採用割合の目標値の達成状況の報告があり、今後の数値目標を踏まえ、各部局等においては、設定した目標値の達成等に向け、引き続き努力いただきたい旨、依頼があった。

4. 次世代育成支援対策推進法に基づく広島大学の行動計画について----- 資料4  
(山口副理事（総務企画担当）報告)

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した本学の「一般事業主行動計画（第1期行動計画（H17.4.1～H22.3.31）」の目標をすべて達成したので、2010年認定事業主として認定を受ける旨、報告があった。

また、併せて「第2期行動計画（H22.4.1～H27.3.31）」（平成22年3月16日役員会承認）を策定し、広島労働局長へ届け出た旨、報告があった。

なお、今後は、第2期行動計画の実施に向けて大学として取り組んでいくこととなるので、趣旨を理解いただき、各部局等においても協力願いたい旨、依頼があった。

5. 平成23年度入学試験問題作成委員長の選出について ----- 口頭報告  
(上理事・副学長（教育担当）報告)

平成23年度入学試験問題作成委員長について、入学センター会議で指名された旨、報告があった。

6. 平成22年度における労使協定について ----- 資料5  
(山口副理事（総務企画担当）報告)

平成22年度における労使協定について、各事業場の過半数代表との協議等が整い、3月31日（水）に締結した協定及び自動更新した協定について報告があった。

そのうち以下の協定等について、主な変更等の概要の報告があった。

- ・時間外労働及び休日労働に関する労使協定
- ・専門業務型裁量労働制に関する労使協定
- ・1年単位の変形労働時間制に関する労使協定
- ・時間単位で取得する年次有給休暇に関する労使協定

7. 最先端・次世代研究開発支援プログラムについて ----- 資料6  
(学長報告)

「将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に対する研究支援制度」である『最先端・次世代研究開発支援プログラム』について、公募が4月5日から開始され、申請対象の教員へのメール連絡、学内説明会等による周知を図っているが、本学においても多数の獲得を目指しており、部局長からも申請を促していただきたい旨、依頼があった。

また、本プログラムはポストドクも申請可能であるので、各部局内のポストドクに周知していただきたい旨、併せて依頼があった。

8. その他

坂越副学長（学生支援・附属学校担当）から、今年度の「広島大学フェニックス奨学制度」の決定者数（6名）について報告があった。

なお、学長から来年度は申請基準を見直し、採用枠の上限である10人全員に支援を行うよう工夫したい旨、また、海外短期留学等の学生支援についても広島大学基金で対応していきたい旨、併せて発言があった。

(資料配付による報告)

次の各事項については、配付資料をもって報告に代えた。

1. 平成21年度第3回 TOEIC (R) IP テスト実施状況について ----- 配付資料1  
(外国語教育研究センター)

2. 平成22年度広島大学入学試験の実施状況について ----- 配付資料2  
(入学センター)

3. 平成23年度入学試験問題作成委員選定責任者の選出について ----- 配付資料3  
(入学センター)

4. レンタルラボ（弾力的活用スペース）の使用者選定について ----- 配付資料4  
（財務・総務室）

5. 各種表彰等の受賞者について ----- 配付資料5  
（財務・総務室）

以上（資料添付略）